

ピーマン・シシトウ黒枯病菌の寄生性



果実の病斑



葉の病徴

表 各種作物から分離した *Corynespora cassiicola* の寄生性

接種病原菌	接种植物				
	ピーマン	ナス	トマト	キュウリ	オオバ
ピーマン・シシトウ黒枯病菌	++	++	+	—	—
ナス黒枯病菌	++	++	+	—	—
トマト褐色輪紋病菌	—	—	++	—	—
キュウリ褐斑病菌	—	—	—	++	—
オオバ斑点病菌	—	—	—	—	++

++: 激しく発病する +: 発病はやや少ない —: 発病は認められない

ピーマン・シシトウ黒枯病の病原菌は、ナス黒枯病、トマト褐色輪紋病、キュウリ褐斑病、オオバ斑点病と同じ *Corynespora cassiicola* で、これらは形態的に区別することができません。しかし、ナス、トマト、キュウリ、オオバの病原菌は寄生する作物が少しずつ異なります（寄生性の分化）。そこで、ピーマン・シシトウ黒枯病菌の寄生性を、ナス、トマト、キュウリ、オオバの病原菌と比較しました。

その結果、ピーマン・シシトウ菌とナス菌はピーマン、ナスおよびトマトに対して病原性を示しました。一方、トマト菌はトマトのみ、キ

ュウリ菌はキュウリのみ、オオバ菌はオオバのみに病原性を示しました（表）。

以上の結果から、ピーマン・シシトウ菌とナス菌は寄生性が類似しており、圃場においても互いに感染する可能性があると考えられました。また、ピーマン・シシトウ菌とナス菌がトマトに感染する可能性もあると考えられました。一方、トマト菌、キュウリ菌、オオバ菌は今回の調査では他作物には感染せず、これらの病原菌はピーマン・シシトウへの感染源にはならないと考えられました。

（病理担当 下元祥史 088-863-4915）